

研究所年報 巻頭の言葉

和漢医薬学総合研究所は「くすりの富山」の伝統の中で、和漢医薬学の学理とその臨床応用を研究するため、和漢医薬学研究に特化した本邦唯一の附置研究所として設立され、資源開発研究から病態制御研究、臨床科学研究までを網羅する世界的にも類を見ない有機的研究システムを構築し、世界の伝統医薬学研究領域の発展に貢献しています。本研究所は、現代の最先端科学技術を駆使することにより和漢薬を科学的に研究し、以て和漢医薬学と西洋医薬学との融合を図り、新しい医薬学体系の構築と全人的医療の確立に貢献することを目的としています。

本研究所はこの使命を果たすべく、他の大学や研究機関の和漢医薬学研究領域の研究者と連携して和漢医薬学に関する共同研究を積極的に進めると共に、異分野の研究者とも連携して特色ある異分野融合の学際的研究プロジェクトの開拓にも取り組んでいます。2013年からは特定研究「漢方薬が有する複雑系の解析」の4研究プロジェクトを、2015年からは「新規戦略的研究」の5研究プロジェクトを開始し、精力的に研究を推進しております。

本学でも平成28年度より第3期中期目標期間がスタートし、本研究所は「全学的な東西医薬学の融合研究を推進し、全国の和漢医薬学研究の中核的拠点を担当・機能を維持向上させ、研究の成果に係る論文数を前期よりも増加させるとともに、本学の目標・特色・強みである「知の東西融合」を実現するための機能強化を行う」ことを目標と定めております。そのため、より一層機能的な組織体制を構築・強化する必要があり、スタッフ構成を含めた組織の見直しと再編、研究資源の再配分及び重点配分を図っています。

このように、本研究所の組織・機能の強化充実を図りつつ、全所員が一丸となり和漢医薬学研究のイノベーティブな進展を図り、新たな地平を拓く所存ですので、今後共、皆様方からの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年4月

和漢医薬学総合研究所 所長 門脇真